

百年の森、さまざまな思い出

●浦和一女同窓会・麗風会

昨日の「百年の森づくり」では、浦和一女同窓会報の「麗風会だより」も配られました。その中に「森だより」の記載がありましたのでご紹介を…。



◆「森の活動に参加して」  
校長 内田 徹  
校長2年目の内田です。麗風会の森づくりが順調に進んでおりますことにお喜びを申し上げます。



げます。私、着任間もない一昨年5月に初めて訪れましたが、ちょうど山つつじが満開で、「光が差し込み、花が咲き、紅葉がきれいな、楽しむ森」という趣旨にぴったりの森の様子に感銘を受けました。その後は、植樹や間伐などの活動に参加させていただき、元気なOGの皆様と毎回楽しい汗を流しております。このような取組は、大震災を経験した我が国にとって大変に必要かつ重要なことだと感じています。麗風会の皆様方のご尽力に敬意を表しますとともに、今後も、参加者が更に増加し、息の長い森づくりになることを期待いたします。

◆「森は多くの人手と熱い思いで」  
PTA会長 飯尾 寛之  
私は幼い頃、夏になると近くの雑木林の中に入り、クワガタやカブトムシを捕まえるのが大好きな少年でした。わくわくとながら一女OGの皆様と森へと歩いて行くと、独特の匂いと地面の上の落葉を踏んだふかふかした感覚が懐かしく心地良いものでした。あの頃の少年時代に戻っての下草刈りはとても充実し、最高のひと時でありました。深緑の中での昼食もひと際おいしく、忙しい日常を忘れてさせてくれる楽しい空間でした。今回の森の活動を通じて、改めて森は多くの人手と熱い思いにより、育てていくものと実感致しました。微力ながら、この息の長い活動のお手伝いをしながら、『麗風会の森』が麗しき里山となることを願います。

\*

麗風会の森にも1,046万円の協賛金が集まりました！

\*

●渡辺克也さん！

昨日のステージはとても素晴らしいものでしたが、演奏家・渡辺克也さんのイメージを壊してしまっ



はいけないのでホロウしておきたいと思えます。公式サイトにある森の中の渡辺克也さんです【写真②】。そして昨夜聴いていたのは、最新アルバム「Poem」です。収録曲は 1. ドラニシニコ

ワ：ポエム 2. ファルグ：ウエーバーの「魔弾の射手」による幻想曲 Op.7 3. サン＝サーンス：オーボエ・ソナタ Op.166 4. ボザ：田園幻想曲 Op.37 5. マドセン：オーボエ・ソナタ Op.22 でした【写真③】。

渡辺克也さんのリサイタルは、7月28日(土)

には 14 時開演で東京文化会館小ホールなどがあります。詳しくは <http://katsuyawatanabe.com/>

\*

●増田三男先生

山小屋の前に、昭和19年から昭和51年まで浦和



高校の工芸科で教鞭を執られていた増田三男先生 (平成21年9月永眠、100歳、彫金の人間国宝)

の年賀状が額装されて飾られました。先生は常に「生活を楽しむ」ということをおっしゃっていました。「生活が忙しければ忙しいほど、毎日の生活を楽しむことが必要である。そして、李朝の白磁壺が漬け物瓶、名器とされる井戸茶碗が飯茶碗として使われていたように、平凡な生活にこそ美しい工芸を使いたい」とおっしゃっていたと思います。

この日の山作業が特別のものではなく、普段の生活の一部のような暮らしをしたいものです。(^^)